

# 基盤領域

## コンプライアンス・公正な競争

**ミッション：コンプライアンスと誠実さにより卓越した存在になる**

**私たちは、倫理的に意思決定し、業務全般で責任ある事業活動を実行することによって、全てのステークホルダーの皆さまと信頼を築きます。**

近年ブリヂストングループでは、使命である「最高の品質で社会に貢献」をもとに、真のコンプライアンス文化を推進するため、長年地域ごとに行われていたコンプライアンスプログラムをグローバルでひとつにまとめました。新たなグローバルコンプライアンスプログラムは、グローバル全体で一貫性と、地域ごとのリスクに効果的に対応できる柔軟性を両立しています。

2018年に発行したグループ共通の「行動規範」の発行は、このグローバルフレームワークの下での重要な成果です。「行動規範」は、全世界の従業員やお取引先様などにとって、汚職防止、独占禁止、利益相反、寄付や政治献金といった幅広いコンプライアンス上の問題に対処する上での指針となるものです。

コンプライアンスは、ブリヂストングループ従業員一人ひとりに求められるものであり、一人ひとりの理解と実践が重要となります。そのためには、責任者が率先して定期的にコンプライアンスの重要性について言及し、グループ各社で行っている研修やコンプライアンスの取り組みに積極的に参加することが起点となります。また、Eラーニングや集合研修を含む幅広い研修プログラムを各地域で計画的に展開しています。

ブリヂストングループでは、「正しい行動をする」ということには、何かおかしいと思ったことに対して声を上げることも含まれていると考えています。このため、Web上や電話で通報することができるホットラインとして「BridgeLine」を設け、ブリヂストングループの従業員や従業員以外の方々が法的又はコンプライアンス上の懸念を誰にも知られずに、法的に許容される範囲で匿名で通報できる体制を整備しています。

2018年には、BSCAPおよびBSEMEAでの「Speak Up（声を上げよう）」というホットライン周知キャンペーンなど世界各地で「行動規範」の浸透活動を行いました。なお、2018年は、汚職防止、独占禁止などの分野に関する重大な通報は確認されていません。

ブリヂストングループは、取引関係のある社外の方々も含めてコンプライアンスを重視しているため、「行動規範」にはお取引先様にも願いたい期待事項も含まれています。さらに、ブリヂストングループのお取引先様には、2018年に策定した「グローバルサステナブル調達ポリシー」にもご理解いただくようお願いしており、一部のリスクが高い取引についてはデューデリジェンスを実施しています。

詳しくは、[Web サイト](#)をご覧ください。

